

天国への手紙

R N つよし

お母さんへ

お母さん、天国ってどんな世界なんでしょう？

楽しいのでしょうか？幸せなんのでしょうか？今は知る由もありませんが、どうか幸せでいて下さい。

年を取っていくとジワジワジワジワ、親の有難みが身に染みてきています。

本当に感謝です。昔は一人で生きてきたような気がしていましたが、今になって親が居たから、親の庇護があつたから、生きてこれたんだなと感じております。

なんで子供の頃から有難みを感じられないのでしょうか？振り返ると、大変、迷惑を掛けて来たなあと感じています。

お金が無いのに、進学する時、当然のように入学金、学費、諸々出して頂き、その他にも、お小遣いから何から何まで面倒をみてもらいました。貰っておいて憎まれ口も結構聞いたことが多々あります。散々甘えておいてそれは無いですよねー！！

甘えて甘えて傷つただけじゃないかなあ、とも思います。ごめんなさい。

そして何度でも言いたいです。ありがとうございます。

頂いた恩を直接返すことは、もう叶いませんが、お母さんから頂いたものを僕を周りで支えてくれている家族、友人達に与えることは出来ます。

本当に心から感謝を込めて多くの友に捧げていきたいと思っています。

その愛、勇気をくれたのは、まぎれもなく、お母さんです。

ひとつひとつ丁寧に生ききったお母さん、お母さんをお手本に僕もひとつひとつ丁寧に生きて行きます。

でも不思議ですね。瞬間々一生懸命に生きてみるとエネルギーが湧いてくるんです。

今この瞬間が大事ってことも身に染みてきました。希望を持って今を生きる！ですね。

取り留めの無い手紙になってしまいましたが、お母さんへの感謝を表現したかったです。

今日から、また頑張ります。本当にありがとうございます。お母さん。お母さん。

リクエスト

蒼岷 山下達郎